

やなせがわ

広報



ワビスケ(西王母)

第 26 号

発行

2007 年 12 月 20 日

柳瀬川町内会

広報部

町内会館について

柳瀬川町内会会長 竹前 栄二



施工のミヤケンの皆さんも交え、上棟式の記念撮影 (2007年12月14日)

いよいよ町内会館建設の本格的な工事が始まりました。11月14日には起工式を行い、12月14日には上棟式

が済んでいます。

思い返せば、ここまで来るのには10年弱かかっており、実に長い道程でした。代々の会長・役員・会員各位の協力で、ついに着工まで漕ぎ着けることができました。

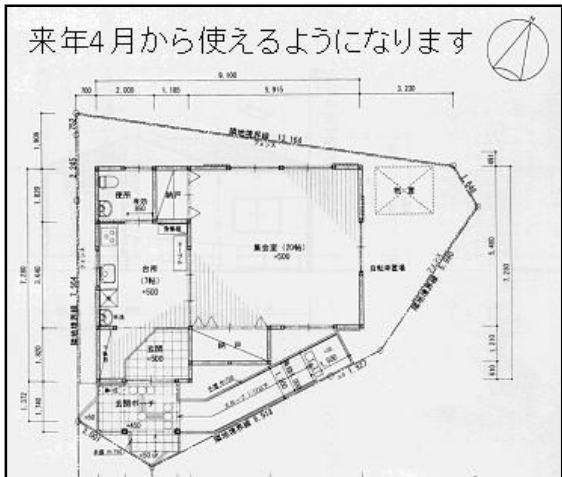
特に、これまでの会長さんたちの苦労は大変でした。市・県・議員を介して要望をあげ、寄付

金の協力要請をし、用地の確保ができたと思ったら行政側の手違いで振り出しに戻ったり、今度は建つと思っただけで他の町内会館が先に建ってしまったりと、まさに紆余曲折の連続でした。

町内会員との間に入り、並々ならぬご苦勞をおかけしました。また、故・野島氏から「百万円」の寄付をいただくながら、会館をお見せできなかったことは残念でなりません。

この会館の建設にあたっては、地元の業者に施工依頼をするよう、建設委員会にお願いしました。地元にお金が落ちれば、いささかでも地域に貢献ができます。また、地元業者であればトラブルがあっても解決が早いこと、それと補助金の書類申請の事務手続きがかなり複雑なため、素早い対応ができないと行政との意思疎通が悪くなる恐れがあることなどが理由です。(注記参照)

来年4月から使えるようになります



最終的にお願いした業者は、設計管理が藍設計事務所(第二福祉センター前の道路沿い)、建築施工がミヤケン(柳瀬川駅前)となりました。特に、ミヤケンさんについては、5〜6年前に図面まで書いて貰いながら、先に述べた経緯のため話がボツになったこともあり、建設委員からも承諾をいただきました。

この会館は、先輩諸氏の汗と苦勞で建つものです。会館とは、町内の方々が分け隔てなく使用でき、隣近所に友好の輪が生まれてくる場所だと思います。孟子の有名な言葉に「和人如不」(人の和に如かず)があります。人の輪が充分に保たれるならば、われわれは町内会・近隣と楽しくのびのびと過ごせるばかりでなく、よけいな色々な制約も受けずに気持ちよく過ごせることになり、より明るい地域社会が築き上げられて行くことと思います。

会館建設の槌音と共に明ける新しい年が、皆さまにとって希望あふれる一年でありますよう祈っております。

(注) 会館の敷地には調整区域が入っていたため、建築許可を受けるには、開発行為の看板を立てたり官報に載せた

りと手続きが煩雑でした。認可の手続きが遅れると着工が遅れて大変なので、書類提出の窓口一本化の要請が行政からありました。

なお、これら事務費用も当初予定の約二倍かかることを付記しておきます。

市民防災訓練に参加して

副会長 上條 守弘

今年は秋が短くて、ゆっくり紅葉を楽しむことがむずかしい年でした。やはり温暖化の影響でしょうか。

ことが紅葉だけならまだしも、台風や雨による災害が年々増えているのは心配です。それに加えて地震の不安もあり、我が町内もいつ巻き込まれるか、心配が増すばかりです。

そんな折、8月25日に開催された「市民総合防災訓練」に今回初めて参加しました。町内からも多くの方の参加があり、皆さんの関心の高さを感じました。

私自身、防災知識はあやしいもので、今回の訓練に参加して、いかに無防備だったか実感しました。たとえば

三角巾の作り方や消火器の使用などは初めての体験でした。また、緊急用の食料や医薬品が、近所の三小に保管されていることも初めて知りました。



なお、緊急避難場所にもなる小中学校の体育館は耐震補強工事が進んでおり、市内ではあと一カ所を残すのみとなっているそうです。市の計画的な防災体制が進んでいることを知ることができました。このような応援・支援体制では、近隣の市町村同士だけでなく、民間の会社とも支援協定が締結されているそうです。

ただ、大きな災害が発生した場合には、これらの公的支援が行き届くまでにかかりの時間がかかることは過去のニュースなどで明らかです。まず家庭でできる準備として、水や簡単な食料、ケガに備えての医薬品などを再点検したいと思いました。

加えて、初期段階の災害救援は、隣近所が協力し合い、また町内会として力を合わることができなくては不可能です。町内会組織による助け合い体制がなくては、どんな災害も乗り越えることができません。柳瀬川町内会の災害対策もますます必要だと感じました。

さて、三小グラウンドで基礎訓練を行ったあと、私たちは秋ヶ瀬に移動しました。そこで行われた大規模な訓練では、自衛隊・医師看護団・県の消防ヘリなどが出動して実際さながらの訓練が行われました。特に市民の関心の高いライフライン(道路・水道・ガスなど)の復旧には、東京電力・水道局・ガス会社などの速やかな対応支援が必要になるのですが、今回はその作業も順調に行われていて安心することができました。

今回の訓練参加は、防災に対する知識を改めて得る良い機会となりました。



防犯パトロールについて

防犯防災部長 村田 義光

防犯パトロール隊員の皆さま、毎日のパトロールご苦労さまです。

去年9月10日に隊の出発式をしてから15カ月になりました。当時36名のスタートでしたが、現在は37名の陣容です。これは町内100余世帯から1/3の参加をいただいていることになり、じつに心強い限りです。

パトロールの狙いは、犯罪者を寄せ付けない地域をつくること、地域住民の連帯感を醸成すること、その結果として犯罪や事故を未然に防止することにあります。幸いこれまで大きな事故もなく、安全で安心な街づくりが続くこと願っております。

ただ、パトロールが始まってからも窃盗事件は起きていますし、相変わらず犬のフンの不始末や資源ごみの不法持去りが絶えません。自転車やバイクの不法投棄もあります。皆さまでより一層の監視の目を光らせてくださることを期待します。

また、バッグなど引つたくりにご注意してください。人通りの多い明るい道

を選ぶこと、バッグは車道と反対方向に持つこと、緊急用のベルや笛などを備えること、などの自衛策が欠かせません。

次に、私たちに一番身近な自転車について述べます。最近の柳瀬川桜並木のいろはウォーキングコースも大変な自転車ラッシュです。自転車も道交法では軽車両です。一般道では車両の一番左側を通ります。

もちろん、酒を飲んで乗ること、携帯電話を使いながらの片手運転、二人乗りは法令違反です。また、イヤホンをつけての運転、無灯火、過剰な速度、雨での傘さし運転、ハンドルにつける傘立ても安全法ではだめです。



雨のときはカッパ着用です。子供と三人で乗る場合は、前位置に乗車カゴを付けて一人、あと一人はオンブします。自転車通行可の歩道では、自転車は車両側を通ります。歩行者の多い場合、ベルを鳴らしてはいけません。徐行するか、降りて通ります。

また、買い物をしたとき、自転車のカゴに物を入れたまま別の用をしてるのを狙った持去り事件も発生しております。荷物は降ろして持ち歩くか、最低でも安全ネットが必要かと思えます。

また一人ひとりが自分と地域の安全を心がけることによって、これからも安心できる暮らしを守っていきましょう。

市民体育祭に参加して

子ども会会長 白井 美恵

10月7日、さわやかな秋晴れのもと開催された第37回志木市民体育祭。

柳瀬川子ども会も、町内会の皆さんと一緒に参加しました。とは言え、前日から「運動会だ！」とウキウキモードの娘を横目に、自らの運動神経や年々衰える体力を思い、ついタメ息が・・・という母

でした。しかし、参加してみると、意外と、結構、いやなかなか楽しいではありませんか。

力走する子供たちの真剣な顔、町内会一丸での大声援、夢中で投げる玉入れ、チームワーク命のムカデ競争などなど、前日の不安はどこへやら・・・
そしてなんと

体育祭特集



言っても締めくくりは、お疲れさん会。競技を振り返っての話題は尽きることなく、大盛会となりました。

最後になりましたが、テント設営・送迎・昼食準備など、町内会の皆さまには大変お世話になりました。また、子供たちを送り出してくださいました育成会のお母さま方のご協力に、心より感謝申し上げます。



メンバー不足で女子も入ったのに、2位になった男子リレー

■ たのしかったけど...

4 班 栗原 光祐(小5)

市民体育祭は、同じ学校や同じクラスの友達などもたくさんいて、たのしかったです。玉入れでは、ぼくのなげ

た玉はあまり入らなかったです。けつ圧そくていでは、何人もふうせんを始まる前にわってしまった人がいました。

リレーでは、ぼくがアンカーのひとり前で、ぼくは1位でバトンをわたされたけれど、二人にぬかされてしまいました。しかし、アンカーが一人ぬかしてくれて、2位でゴールになりホッとしてました。体育祭はたのしかったけれど、すごくつかれました。

■ ムカデ競争

4 班 栗原 あゆみ(母)

子どもの運動会では、いつも見る側ですが、市民体育祭は大人も子どもと同じように参加するので、日ごろの運動不足を痛感するのにとてもいい機会です。

私の中でメインイベントは、なんと言ってもムカデ競争です。見た目には楽しそうですが結構キツイのです。直前の少しの練習で、すぐ本番に挑みます。やけに気合が入っている他チームを横目に一斉スタート。掛け声で動きを合わせるので喉はすでにカラカラ、体力も限界。それでも上位で男性チームにバトンタッチすることができて、その瞬間、終ったーと安堵

感に満たされます。

ご参加の皆さま、本当にお疲れさまでした。

■ 一日がんばった運動会

9 班 千ば いろり(小2)

今年のうんどう会もいっしょうけんめいがんばりました。いろいろなきょうぎに出れたので楽しかったです。一ばん思っ出にのこっているのは、リレーです。

2年れんぞく1位になれたのは、みんながひとつになったからだと思います。とてもうれしかったです。らい年もまたがんばってリレーで1位をとりたいと思います。



■ 感動の瞬間

9 班 千葉 美穂(母)

今年も期待どおり(?!?)の結果に

大満足です。応援している人たちにも伝わる子供たちの頑張りは本当に素晴らしかったです。

まだ見たことのない方は、是非とも来年足を運んでみてください。きっとまた感動の瞬間を目にすることができそうですから...

日頃の運動不足を認識しつつ、来年には克服してやるぞ!!と考える母でありました。

■ リレーの思い出

6 班 白澤 里枝(小4)

私は、市民運動会でいろいろな競技に参加しました。中でも一番思い出に残ったのがリレーです。

バトンが私に回ってくるまでは心ぞうがドキドキだったけど、バトンを受け取ってからは前だけを見て、一生けん命走りました。そして結果はなんと1位!! すごくうれしかったです。

町内会のおじさんや、おばさんたちがみんな「速かったね」とほめてくれました。

また、来年の運動会でもがんばって、1位になりたいと思いました。



ダントツ1位で駆け抜ける女子リレーチームに柳瀬川チーム応援席は興奮のルツボとなりました（応援賞受賞!）

■ 来年も参加したい

5班 内城 有希菜（小3）

私は、市民体育祭にでるのが初めてでした。ちよっときんちようして、心



私は市民体育祭に、来年も参加したいです。

ぞうがドキドキしていました。でもつぎつぎときょうぎをやっているうちに、とても楽しくなってきました。スプーンレース、しようがいぶつりレーなどがあり、しようがいぶつりレーでは3位になりました。そしてぜんはんさいこのリレーでは男子は2位で女子は1位になることができてとてもうれしかったです。みんなであべたおべんとうは、とてもおいしかったです。こんど市民体育祭にゆくときには、スプーンレースとしようがいぶつりレーでいいつかをだしたいです。こんどのリレーでは、男子、女子ともに1位がいいです。

おすすめです！ 体験ツアー
市立八ヶ岳少年自然の家

7班 奥村 エイ子

市の広報9月号に、八ヶ岳ツアー（9/28〜29）の募集があり、市の施設である「八ヶ岳少年自然の家」に初めて行ってきました。

施設の前方には秩父の山並が見渡せ、右手には富士山が望め、後方には八ヶ岳の峰々が連なっていて、自然に抱かれた良いところでした。できてから年数が経っているのに、施設はよく整備されていました。

一服してから、まわりの遊歩道を散策しました。蔓に下がった可愛い赤い木の実を所々で見つけました。夜はキャンプファイヤーを楽しんでいたら雲に隠れていた月も、誘われたように顔を出しました。

ここでは、よく晴れた夜には満天降るような星が見られるそうです。今回は少し残念な空だったので、次回に期待したいと思います。

帰り道に寄った「まきば公園」は広い見晴らしの良いところで、またいつ

か来たいと思いました。そのあとサントリーの工場でウイスキーの工程を見学し、再利用のために樽の内側を炎で焼く場面では職人技を見ることができました。

昼食に出されたタンポポやイタドリなど野草の天ぷらも、野趣があつて良い味でした。また、参加者が楽しく過ごせるよう、同行された市の職員の方々がいろいろと用意してくださいましたので、バスの中も楽しく過ごることができました。

☆☆



西暦年	元号年	月	日	内容(お名前敬称は略)
1971	昭和46			志木ニュータウン着工(完成は1988年)
1972	昭和47			
1973	昭和48			
1974	昭和49			
1975	昭和50			
1976	昭和51			
1977	昭和52			
1978	昭和53			
1979	昭和54	11	8	東武東上線「柳瀬川」駅開業
1980	昭和55			
1981	昭和56	5		柳瀬川町内会結成式(第三小学校講堂)、87世帯 初代会長・小沢、副会長:矢嶋
1982	昭和57			
1983	昭和58	5		矢嶋会長(2代目)、副会長:小島
1984	昭和59			ソフトボールチーム「柳瀬川ブルース」結成 柏町6丁目テレビ共同受信施設組合(飛栄産業)
1985	昭和60			
1986	昭和61	5		倉田会長就任(3代目)、副会長:小島・野島
1987	昭和62	3	25	6m道路(町内中央通り)舗装完成
1988	昭和63			志木ニュータウン完成
1989	平成1	5	21	柳瀬川ブルース、市民ソフトボール大会優勝 株式会社志木ケーブルメディア開局 飛栄産業から志木ケーブルメディアへ保守管理移管
1990	平成2			
1991	平成3	5		奥村会長就任(4代目)、副会長:野島・田村
1992	平成4			志木市立柳瀬川図書館開設
1993	平成5			
1994	平成6	3		リヴァージュ志木完成(町内会加入は1996)
	平成6	11	27	親睦旅行第1回(寄居・鬼石、1泊2日)
1995	平成7	9		町内旗購入 町内入口部分の道路拡幅舗装完成
1996	平成8	5		田村会長就任(5代目)、副会長:仁科・野島
		10		町内私道部分の全防犯灯取替え完了
		11	2	親睦旅行第2回(湯田中、1泊2日)
1997	平成9			
1998	平成10	5		副会長:仁科・杉原(芳)
		10		親睦旅行第3回(塩原、1泊2日)
1999	平成11	8	14	大雨で町内道路冠水
2000	平成12	5		仁科会長就任(6代目)、副会長:竹前・杉原(芳)
2001	平成13			
2002	平成14			
2003	平成15	5		副会長:竹前・伊藤(ふ)
2004	平成16			
2005	平成17	6		館第二排水ポンプ場完成
2006	平成18	5		竹前会長就任(7代目)、副会長:上条・伊藤(ふ)
		9		防犯パトロール隊発足
2007	平成19	11	14	町内会館起工式

柳瀬川町内会の 歴史

当町内会と柳瀬川周辺の歴史を年表にまとめました。記載した以外のできごとをご存知の方は、どうか広報部までお知らせください。

編集後記

皆さまのご協力のおかげで、今年はこの広報を予定どおりに2回発行することができました。記事をお寄せいただいた皆さま、ご協力いただいた皆さまに、あらためて厚く御礼申し上げます。

10月の体育祭は、大人33名・子ども12名のご参加をいただき、絶好の秋晴れの中で一日盛り上がりました。その結果は、出場22チーム中の9位という近年まれな好成績となりました。

お詫び

前回(6月30日発行)発行の広報の号数を「24」としておりましたが、その後の調べで、正しくは「25」号だったことがわかりました。発行がかなり途切れていたり、号数表記のないものが過去にあったりしたことが原因です。

お手元の広報は25号が欠番になってしまいますが、事情ご賢察くださいますようお願い申し上げます。

この第26号から、実験的に「広報やなせがわ」のメール配信(PDF形式)を始めます。受信をご希望の方は、「お名前と班名」をご記入の上、次のアドレスにメールしてください。 masakisugi@nifty.com